

2023年の記録



【中層大規模木造設計支援ツール・耐火火版HP開設】



小中大断面の製材・集成材の工場視察ツアー（福島）

大径材の丸太の前で

NPO法人team Timberize

普及啓蒙

3月に高知へ中大規模木造建築の先進事例の視察ツアー、10月に福島へ小中大断面製材と集成材工場（協和木材・藤寿産業・ダイテック）の視察ツアーに参加。また、都市木造の未来をみせてくれたT1グランプリの授賞作品を設計者が解説するセミナーに参加。同じ方向を向いた会員同士の深い交流ができるティンバライズ、いと楽し。

<https://www.timberize.com>



外張り断熱外壁の性能評価試験後

屋根断熱の施工

新素材ストーンウール断熱材

技術開発

世界39カ国での販売実績がある玄武岩からできたストーンウール断熱材が日本上陸。外壁の防火構造・準耐火構造の大巨認定取得のための技術支援を行う。900℃を超える加熱を受けてもほとんど性状かわらない高い遮熱性能を有する材料。密度が高くボード状で、外壁や屋根の外断熱材として使用可能でこれからの省エネ建築への活用の可能性を強く感じる。Rockwool Japan社のこれからに注目したい。

中層大規模木造耐火設計ツールKi

普及啓蒙 / 未来へ

木造建築物の設計では、RC造やS造ではあまり考えなくて良かった耐火火に関する法令が複雑に絡み合っており、それらを読み解かないとなかなか思うような木造建築や木質空間ができない。その読み解きをお助けするために、「中層大規模木造研究会設計支援情報データベース」に、従来の「構造編」に加えて、「防・耐火編」が登場。桜設計集団からも秘蔵資料を提供して、ひとつのホームページが完成。

防火構造から耐火構造までの告示一覧、接合部や取り合い部の耐火火実験のデータとその解説、みんなが知りたいFAQなど、このホームページを閲覧すれば、いままでの疑問も解決！

<https://www.ki-fire.info>



絶賛連載中

awaもくよんへ視察

日経アーキテクチャ連載

普及啓蒙

2022年10月から始まった日経アーキテクチャの月一度の連載「実例に学ぶ防耐火の勘所」も1年を過ぎ14回を数える。その他建築物を除いて、準耐火建築物（イ準耐とロ準耐1号）、耐火建築物（仕様規定と耐火性能検証法）、避難時倒壊防止建築物、延焼防止建築物など、建物の規模と用途に応じた防耐火設計の手法を「ここが秀逸！」と3つずつ良いところをピックアップ。まとめると良い読みものになりそうな予感。



小鹿野町役場

【設計】香山建築研究所

豊川開妙厳寺

【設計・施工】中島工務店

中大規模木造の防耐火設計支援

設計支援

地域の木材を積極的に活用したイ準耐火建築物の埼玉県・小鹿野町役場の防耐火設計支援に取り組む。京丹波町舎で技術開発された平角製材2丁合わせの組立柱は、載荷加熱実験により安全性が確認されている。また、愛知県・豊川開妙厳寺では、土塗り真壁造で1時間準耐火構造外壁・間仕切壁、ケヤキ製材の1時間準耐火構造柱・梁の大巨認定取得支援に取り組む。いずれも、木材が元々持つ、ゆっくりと燃える性能を最大限引き出した技術開発を提案。



土塗りワークショップ（荒壁塗り）
写真：川辺明輝

まちなかの土壁住宅

設計 / 未来へ

土壁の京町家で育った安井。冬は寒くて夏は暑い。地震や火事による被害も少し心配。これら心配いらずのニュータイプの土壁住宅を、宮内建築宮内寿和さん・岡岡舞美さん施工で、岐阜県立森林文化アカデミー辻充孝さんの温熱環境アドバイス、大阪公立大学岡本滋史さんの構造アドバイスを受けながら設計・施工中。日本上陸の玄武岩からできたストーンウール断熱材が建物全体を隙間無く覆い、木材同士の隙間という隙間をテーピング。



加熱前の試験体表面

実験終了時の試験体表面

木製カーテンウォール

技術開発

木材を耐火被覆に使用して、ALC版のように使える木製カーテンウォールの技術開発にかかわる。すでに1時間準耐火構造は開発し、3階建以下の準耐火建築物へは展開済み。今回は30分耐火構造の非耐力壁を木と木材由来の燃え止まり部材を組み合わせて製造し、性能確保に見通しをつける。木造によらず、鉄骨造、RC造の延焼のおそれのない部分に、木材あわわしの木製カーテンウォールの実用化も近い。なお、雨がかりは注意が必要。



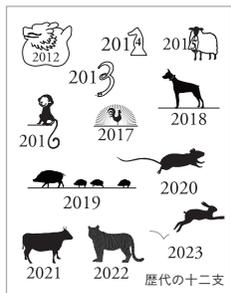
6年目の外観

お庭の改造プロジェクト始動

6年目の八ヶ岳秘密基地

学び

竣工から丸6年を迎えた桜設計集団の八ヶ岳秘密基地。1000㎡の敷地に、竣工時に植えた樹木が少しずつ成長して建物の高さを超えるものも。庭みちの小野みち子さんをお願いして、10年後、20年後を見越した造園計画に改造中。この6年でもっとも成長したのは“竹”。春先にあつという間に延びる竹にたくましさを感じるものの、かなりの厄介者に。そうであれば、有効活用しようと竹炭づくりも開始。自然との共存を模索中。



カレンダー 12周年

未来へ

2012年からはじめたお手製カレンダー。最初は自分達が使いやすいカレンダーをつくりたくてはじめてみた。仲の良い知り合いに配ると意外と好評に。一年間、桜設計集団が多くの方の協力を得て活動できた感謝の報告を冒頭にまとめて、branch村上幸枝さんデザインの毎年の干支が表紙を飾る。十二支ひとまわりしたから、やめようかと思ったら意外と“やめないで”のありがたい声が。感謝申し上げます！



加熱面の熱画像

炭化層（岐阜県カマツ）

自主研究部活動

技術開発 / 未来へ

「外部加熱を止めても木材は燃え続けられるか？」を基礎実験で検証。木材は外部から何かに加熱されないと熱分解して可燃性ガスを出さないため、自分だけでは勝手に燃えださない材料。加熱を受けて一旦燃え始めた後に加熱を止めると燃焼し続けられないのではないかと、30分、1時間と加熱時間を変えて加熱実験。思った通り。2023年日本建築学会学術講演大会梗概集（防火：3132と3133）に投稿済み。続く。



イギリス視察ツアー 南雄三さんと

大人の建築・文化遠足

学び / 未来へ

佐賀とスコットランド・イングランドへ。日本全国・世界への大人の遠足再開。立場の違う人達とバスとハイエースを使って各地を巡り、未来のためにインプット。



大人の遠足旅行記 八坂木材にて
写真：川辺明輝・八坂麻里子



桜設計集団一級建築士事務所（安井 昇・加來千紘・中村 遥・瀧本ことみ・山下壮一郎）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-21-10代々木パレス501 TEL / 03-5365-4155

<http://www.teamsakura.jp> facebook : <https://www.facebook.com/teamsakura.jp>

【京都事務所】〒604-0931 京都府京都市中京区二条寺町東入榎木町77-1 延寿堂ビル5階

【八ヶ岳 秘密基地】〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境田端3243-21

<カレンダーデザイン・制作>

Branch（村上幸枝）

<http://www.branch-design.jp/>